

四国発

食品輸出ルート確立に向け

タイ国・バンコク市で

四国食品フェアを開催



▲四国食品フェアのオープニングを飾った鏡割り（左から、神戸屋食品工業㈱の大山照雄代表取締役、サイアム・パラゴンのマリーニ・スッターンカヌ氏、伊藤市長、サイアム・パラゴンのピラッ・アサワーピロム氏、西条商工会議所の田中正夫副会頭、サイアム・パラゴンのワッチャニー・シリバパー氏）



▶四国食品フェアの会場となった、東南アジア最大規模を誇るデパート「サイアム・パラゴン」。

市では四国発の食品輸出ルート確立を目標に、平成18年度からタイ国への食品輸出版路開拓事業に取り組んでいます。

この事業の一環として、市では㈱西条産業情報支援センターとタイ国の現地商社である神戸屋食品工業㈱と連携し、バンコク市内のデパートで「四国食品フェア（グルメシコク市）」を開催しました。四国食品フェアは1月25日から2月3日にかけて行われ、愛宕柿、鳴門金時、讃岐うどん、鰹たたきなど四国内の地場特産品58点を展覧し、タイの人々にPRしました。

今後、タイ国への販路開拓事業で得たノウハウを活用し、東アジアや東南アジア圏域諸国をターゲットに、さらなる輸出版路拡大に向けて取り組むことを計画しています。

西条をはじめとする四国の地場特産品の海外販売促進を狙いとしたり「タイ国への食品輸出版路開拓事業」は、平成18年度に(財)貿易研修センターの助成を受け、輸出に向けた現地マーケット調査を実施しました。

平成18年11月・12月には、西条市、㈱西条産業情報支援センター（サイクス）、市内企業などによるタイ国への視察団を派遣し、現地の日本食商社である神戸屋食品工業㈱の協力もあって、翌年1月25日から2月4日までの間、東南アジア最大規模のデパートであるバンコク市内のサイア

ム・パラゴンで開催された「グルメニッポン市」に愛媛県の地場特産品7点を展覧することができました。

今回開催された「四国食品フェア」は、西条市、サイクス、神戸屋食品工業㈱の主催で行われ、1社単独では難しい食品の海外輸出を容易にするため、サイクス会員企業である新居浜市の芙蓉海運㈱を窓口にして四国内の地場特産品を収集しました。

集まった四国の地場特産品は、愛宕柿、鳴門金時等の青果物、麦味噌、じゃこてん、うどん、鰹たたき等の加工品など58点で、19企業が出展に